

# === TACS 情報 第1号 ===

(Toyama Agricultural Cultivation Management Information System)

令和4年5月31日

農業技術課 広域普及指導センター

## 1 気象経過

### (1) 気温

5月上旬の平均気温は、15.1℃（対平年差-1.2℃）と平年より低かった。

5月中旬の平均気温は、18.1℃（同+0.9℃）と平年より高かった。

5月5半旬の平均気温は、19.8℃（同+1.2℃）と平年より高かった。

### (2) 降水量

5月上旬の降水量は、15.5mm（対平年比35%）と平年より少なかった。

5月中旬の降水量は、34.0mm（同79%）と平年並であった。

5月5半旬の降水量は、9.5mm（同56%）と平年並であった。

### (3) 日射量

5月上旬の平均日射量は、21.5MJ/m<sup>2</sup>/日（対平年比121%）と平年より多かった。

5月中旬の平均日射量は、16.8MJ/m<sup>2</sup>/日（同92%）と平年より少なかった。

5月5半旬の平均日射量は、24.4MJ/m<sup>2</sup>/日（同128%）と平年より多かった。

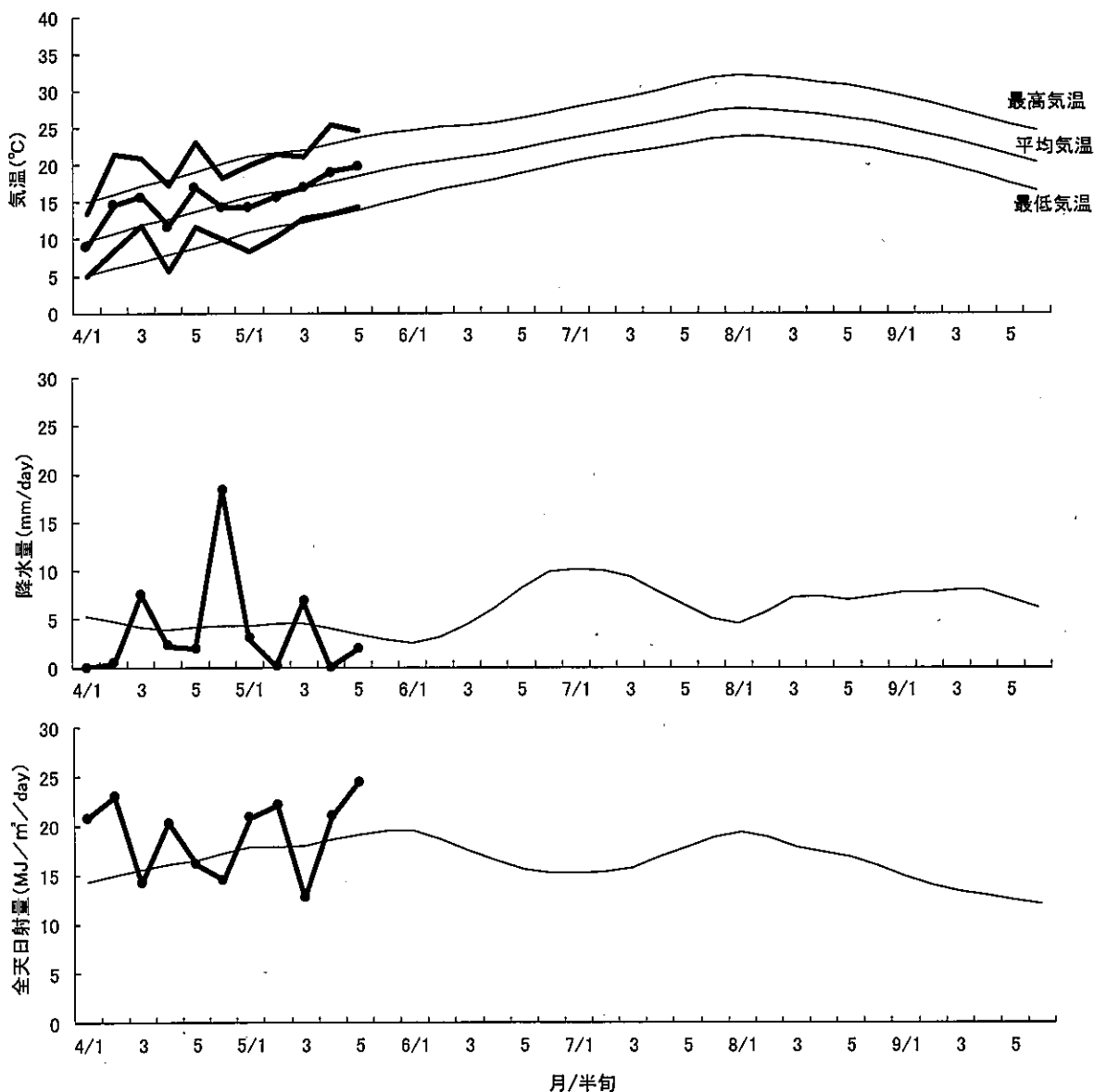


図1 令和4年の気象経過（富山地方气象台）

## 2 生育状況（生育観測ほデータ）

### (1) 苗の状況

#### ① てんたかく

草丈、葉齢は平年並で、第1葉鞘長は平年に比べてやや長く、乾物率は平年に比べてやや低かった。

#### ② コシヒカリ

草丈、乾物率は平年並で、葉齢は平年に比べて0.2葉小さく、第1葉鞘長は平年に比べて長かった。

#### ③ てんこもり

草丈は平年に比べてやや短く、葉齢は平年に比べて0.2葉小さく、第1葉鞘長、乾物率は平年並であった。

表1 苗の生育状況（生育観測ほ）

品種	年次	草丈 (cm)	葉齢 (葉)	第1葉鞘長 (cm)	生体重 (mg)	乾物重 (mg)	乾物率 (%)	充実度 (mg/cm)
てんたかく	R4	13.6	2.7	3.4	91.1	16.1	17.7	1.20
	R3	11.6	2.8	2.9	78.4	14.6	18.6	1.26
	平年	13.4	2.7	3.2	90.2	17.4	19.3	1.31
	前年比・差	117	-0.1	118	116	110	95	96
	平年比・差	102	0.0	105	101	92	92	92
コシヒカリ	R4	14.7	2.4	4.3	84.4	17.1	20.4	1.17
	R3	14.1	2.6	3.7	89.8	16.8	18.8	1.19
	平年	14.4	2.6	3.8	89.7	17.9	20.0	1.25
	前年比・差	104	-0.2	116	94	102	109	98
	平年比・差	102	-0.2	114	94	95	102	94
てんこもり	R4	11.3	2.9	3.4	90.7	18.2	19.9	1.58
	R3	11.6	2.6	3.2	81.4	15.0	18.5	1.29
	平年	12.4	2.7	3.5	86.3	17.3	20.2	1.40
	前年比・差	97	0.3	107	111	121	107	122
	平年比・差	91	0.2	99	105	105	98	113

注) 平年：H24～R3年の平均、充実度：乾物重÷草丈

### (2) 本田での生育状況

#### ① てんたかく

平年に比べ、草丈はやや短く、茎数は多く、葉齢は0.4葉進んでいる。

#### ② コシヒカリ

平年に比べ、草丈、葉齢は並、茎数は多くなっている。

#### ③ てんこもり

平年に比べ、草丈はやや短く、茎数、葉齢は並となっている。

表2 水稻の生育状況（5月31日 生育観測ほ）

品種	年次	田植日 (月/日)	植付本数 (本/株)	栽植密度 (本/m <sup>2</sup> )	草丈 (cm)	茎数		葉齢	葉色	
						(本/株)	(本/m <sup>2</sup> )		葉色板	SPAD
てんたかく	R4	5月1日	3.8	21.7	24.8	12.1	261	7.4	4.4	40.0
	R3	5月3日	3.9	21.5	26.2	8.2	175	6.4	4.3	33.7
	平年	5月4日	3.8	21.3	26.7	10.6	225	7.0	4.4	39.3
	前年比・差	-2	-0.1	0.2	95	148	149	1.0	0.1	6.3
	平年比・差	-3	0.0	0.4	93	114	116	0.4	0.0	0.7
コシヒカリ	R4	5月13日	3.8	22.1	25.9	6.6	145	5.4	4.0	32.4
	R3	5月14日	3.9	21.9	23.0	4.7	102	4.6	4.0	25.1
	平年	5月14日	3.8	21.6	25.0	6.0	128	5.3	4.0	32.6
	前年比・差	-1	-0.1	0.2	113	142	142	0.8	0.0	7.3
	平年比・差	-1	0.0	0.5	104	111	113	0.1	0.0	-0.2
てんこもり	R4	5月8日	3.5	18.8	22.5	9.5	177	6.5	4.4	36.5
	R3	5月9日	4.1	19.6	24.3	5.7	110	5.8	4.2	29.0
	平年	5月8日	3.8	19.2	23.9	9.8	184	6.6	4.3	37.7
	前年比・差	-1	-0.6	-0.8	92	167	161	0.7	0.2	7.5
	平年比・差	0	-0.3	-0.4	94	97	96	-0.1	0.1	-1.2

注) 平年：H24～R3年の平均

### 3 当面の技術対策

- ・「てんたかく」、「てんこもり」等の田植時期が早いほ場では、現在、分げつが急速に増加していることから、田植後1か月までに遅れないよう溝掘り・中干しを行う。
- ・「コシヒカリ」は、田植後3週間を目安に入水を止め、適度な土壌硬度を確保した上で、田植後4週間までに溝掘りを行う。

#### (1) 「てんたかく」、「てんこもり」等の田植時期が早いほ場の管理

現在、分げつが急速に増加していることから、田植後1か月までに中干しを遅れずに開始する。また、中干しに入る前に、確実に5m(15~17条)に1本を目安に溝掘りを行い、ほ場への入排水の効率を高める。

#### (2) 「コシヒカリ」の管理

- ・田植後3週間を目安に入水を止め、適度な土壌硬度を確保した上で、田植後4週間までに溝掘りを行う。
- ・中干しは田植後4週間までに確実に開始する。

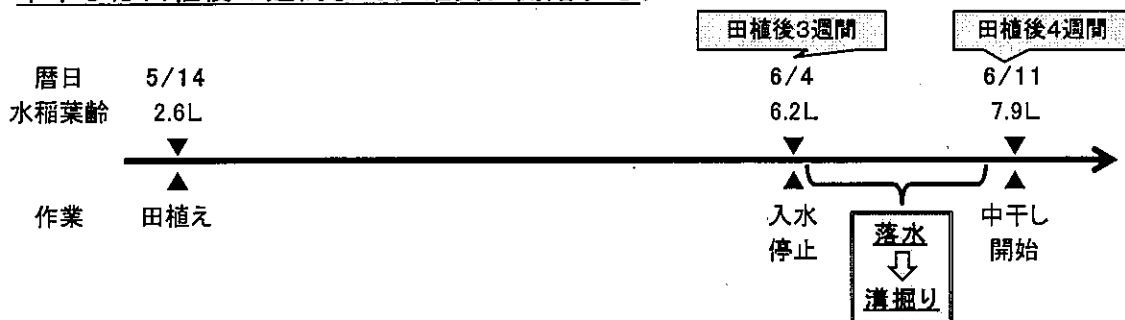


図2 溝掘りと中干し実施のイメージ

注) 水稻葉齢: H24~R3 生育観測ほコシヒカリの平均値

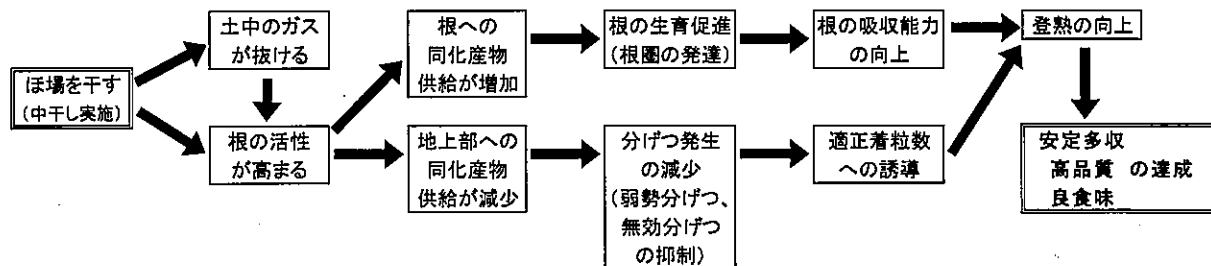


図3 中干しの効果

#### (3) 共通管理

##### ① 雑草防除を的確に

- ・雑草の発生がみられる場合は、草種と生育期に応じて、適切な中・後期剤を散布する。
- ・除草剤の散布にあたっては、使用基準を厳守するとともに、湛水散布の場合、散布後7日間は止水管理（「落水」や「かけ流し」をしない）とし、水田外への流亡を防ぐ。

##### ② 病虫害防除を徹底

###### <いもち病>

- ・苗箱施薬で殺菌剤を施用していない場合は、予防粒剤を6月20日頃までに散布する。

###### <斑点米カメムシ類>

- ・今後、気温の上昇に伴い発生量が多くなると見込まれるので、イネ科雑草の穂が出ないよう草刈りを徹底する。
- ・本田内のノビエやホタルイも、斑点米カメムシ類による被害を助長するので、除草を徹底する。

※ 草刈り運動期間：7月1日~10日 一斉草刈り日：7月2日~3日

# 「富富富」の生育状況と当面の技術対策について

## 1 生育状況（生育観測ほ等データ）

### (1) 苗の状況

草丈、第1葉鞘長は近年並で、葉齢は0.2葉大きく、乾物率はやや低かった。

表1 苗の生育状況（生育観測ほ等）

年度	草丈 (cm)	葉齢 (葉)	第1葉鞘長 (cm)	生体重 (mg)	乾物重 (mg)	乾物率 (%)	充実度 (mg/cm)
R4	12.5	2.6	3.6	85.2	15.1	17.8	1.21
R3	12.3	2.4	3.6	81.2	14.6	18.1	1.20
近年	12.5	2.4	3.7	80.5	15.2	19.0	1.23
前年比・差	102	0.2	100	105	103	98	100
近年比・差	100	0.2	97	106	99	94	98

注) R4：生育観測ほ、登熟向上収量安定化試験・対照区（合計8カ所）の平均

R3：生育観測ほ、良食味栽培・対照区、密苗栽培・対照区（合計12ほ場）の平均、近年：H29～R3の平均

### (2) 本田での生育状況

近年に比べ、草丈、葉齢は並、茎数はやや少なくなっている。

表2 「富富富」の生育状況（5月31日 生育観測ほ等）

年次	田植日 (月/日)	植付本数 (本/株)	栽植密度 (本/m <sup>2</sup> )	草丈 (cm)	茎数		葉齢 (L)	葉色	
					(本/株)	(本/m <sup>2</sup> )		葉色板	SPAD
R4	5/16	3.7	21.2	24.1	5.5	114	5.1	4.1	32.4
R3	5/16	4.1	21.7	20.6	4.3	94	4.4	4.0	27.5
近年	5/15	3.9	21.6	23.1	5.8	124	5.2	4.1	33.1
前年比・差	0	-0.5	-0.5	117	127	122	0.7	0.1	4.9
近年比・差	1	-0.2	-0.4	104	95	92	-0.1	0.0	-0.7

注) R4：生育観測ほ、登熟向上収量安定化試験・対照区（合計8カ所）の平均

R3：生育観測ほ、良食味栽培・対照区、密苗栽培・対照区（合計12ほ場）の平均、近年：H29～R3の平均

## 2 当面の技術対策

・田植後3週間を目安に入水を止め、適度な土壌硬度を確保した上で、田植後4週間までに溝掘りを行う。

### (1) 浅水管理

田植後3週間までは、浅水管理により水温の上昇に努め、分げつの発生を促進する。

### (2) 溝掘りと中干し

水管理の効率を高めるため、田植後3週間を目安に入水を止め、適度な土壌硬度を確保した上で、田植後4週間までに溝掘りを行う。


また、「富富富」は生育期間を通して葉色がやや濃く推移することから、幼穂形成期に適正な葉色へ誘導し、目標とする籾数を確保するため、中干しは田植後4週間までに遅れないよう確実に開始する。

### (3) その他の管理

病害虫および雑草防除は、コシヒカリに準じて実施する。ただし、生育期間を通しての化学合成農薬の成分使用回数が12以内となるよう留意する。

次回の調査日は6月7日（火）です。よろしくお願ひします。  
生育調査及び溝掘り・中干し状況の確認をお願ひします。

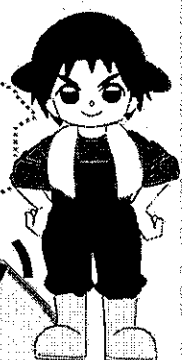
**「田植後4週間までの中干しの確実な開始」が、  
きれいで、美味しい「富富富」を穫るポイント！**

**「過剰籾数は、厳禁」** 

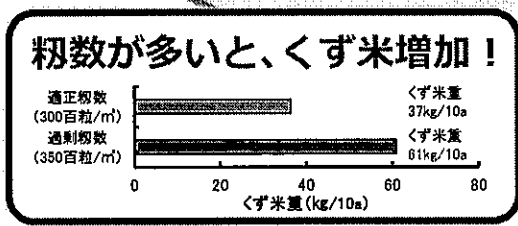


「富富富」ちゃ、な～ん倒れんから、  
てっかいと肥料やって、  
たくさん籾つけてやれ！

過剰な籾は、絶対につけちゃダメだよ！  
過剰になると、悪いことばかりなんだ！！



- ① **くず米が多く、収量少ない**  
くず米や色彩選別ではくず米が多く、収量が低下！
- ② **品質・食味の低下**  
乳白粒、心白粒、青未熟粒が増加！  
タンパク含有率が高く美味しくない米に！
- ③ **登熟がばらつく**  
籾の黄化がばらつき、刈取適期がわかりにくい！



過剰籾数の主な原因は  
**「基肥のやりすぎ」と**  
**「中干しの遅れ」**

**注目！**

**「適正な基肥窒素量の施用」**  
**「田植後4週間までの中干しの確実な開始」**